



教育目標

豊かな人間性を培う  
創造 自律 敬愛 健康

# 西中だより

西中 HP

URL ; <http://nishichu.starfree.jp/wp/>

令和4年11月28日発行

第 8 号

## ～「泥かぶら」から考えたこと～

校長 黒川 裕之

「泥かぶら」というお話をご存じでしょうか。絵本や劇になったりしている名作です。たまたま、久しぶりにその絵本を読んで考えることがありましたので、そのあらすじを紹介します。

昔、ある村に孤児で、家もなく、その醜さから「泥かぶら」と呼ばれる少女がいました。子どもからは石を投げられ、唾を吐きかけられ、泥かぶらの心はますます荒み、その顔はますます醜くなり、周囲を恨んで乱暴になってしまいます。しかし、美しくなりたいと願う泥かぶらは、旅の老法師から大切なことを教わります。「三つのことを守れば、美しくなれる。まず1つは、自分の醜さを恥じないこと。2つ目は、いつもにっこりと笑っていること。3つ目は、人の身になって思うこと。」法師の言葉を信じた泥かぶらは、その通りの生き方をし始めます。人のために思い行動することで友達ができ、人の嫌がることもニコニコしながら次々とすることで人気者になり、人生が好転していきます。そして、村人のために労をいとわずに働く泥かぶらは、次第に、村人にとってかけがえのない存在となります。ところが、ある日、同い年の娘が買われていくのを知った泥かぶらは、孤児の自分が身代わりになろうと申し出ます。それから、怖ろしい人買いと泥かぶらの奇妙な旅が始まります。しかし、泥かぶらはこのときでも、老人との約束を忘れませんでした。そして、自分の心に残っている美しく楽しい思い出だけを、心から楽しそうに人買いに聞かせるのでした。そして、ついには恐ろしい「人買い」の心まで動かし、改心させてしまうという話です。

子どもに接する時のヒントがあると感じました。悪人の代表格たる人買いまでも改心させてしまう泥かぶらのような素晴らしい人格に育てるためには、

- 1, 自己を肯定できること
- 2, 周囲に優しい気持ちで接すること
- 3, 他者への思いやりを持つこと

が大切であることを理解させ、実行させなければなりません。泥かぶらは、自分一人で法師の教えを守りましたが、今の時代には周囲の助けが必要です。子どもと接する大人には、子どもに自分を肯定できる言葉かけをしたり、笑顔でいることを率先してその効果を伝えたり、他者への思いやりを言動で表し、子どもの手本を示すことが期待されます。西中学校の全ての子どもたちに、泥かぶらのように周囲に愛される人に成長してほしいと願います。

### 健康第一！無理はしないで。発熱等に要注意！！

本格的な冬を迎え、インフルエンザについても注意喚起がされています。マスク着用やうがい・手洗いの徹底はどちらの対策にもなりますが、この時期の空気の乾燥もよくありません。換気によって部屋の温度が下がるのは辛い季節ですが、ウイルス対策、乾燥防止のための“換気”を小まめに行い、健康にこの冬を乗り越えて行きましょう。

なお、これから中学校は受験シーズンを迎えますので、体調が優れないときは、自分のため、友達のためにも無理はせず、早めの休養を取りましょう。学校を休む際、希望があればタブレットを家へ持ち帰り、授業の生配信を見たりドリルやタイピング練習などしたり、体調がいい時には家庭での学習に役立ててください。

# “代替わり”の生徒総会

当初、10月末に予定していた『生徒総会』ですが、新型コロナウイルス感染症対策を鑑み、11月2日に延長し、併せて参集型からリモート型へと変更しました。

生徒会の書記局や各専門委員長・学級委員長のみ体育館に列席し提案や質疑応答を行い、その様子を各ホームルームに配信しました。体育館とホームルームとは双方向でのやりとりも出来るようにしました。今回は前期反省と後期計画という大きな議題が二つありましたが、スムーズに議事が進行し時間内に終わることができました。



この総会を境にして生徒会を牽引する主体が3年生から2年生へバトンタッチされてます。今月、既に西中の伝統を守りながらも何か新たな事へ挑戦しようとする姿が各委員会に見られ、1、2年生の頑張りや3年生が支えてくれている様子もうかがえました。

玄関や図書室前に本を展示し始めました。  
(学習委員会)



# <12月の行事>

月日	曜	12月の主な行事(予定)
12/1	木	全校朝会
2	金	3年生 学力テスト(模擬I)・三者面談 1年生 余市養護学校交流授業
5	月	後期専門委員会
6	火	3年生 余市紅志高校出前授業 <b>スクールカウンセラー来校(午前)</b>
10	土	授業参観日・懇談会
12	月	振替休業日
15	木	3B しおかせ実習(旭中)
22	木	2学期終業式
23	金	冬季休業(冬休み)
29	木	学校閉庁日(1/5(木)まで)

○12月に入ると、3年生は願書の下書きや面接練習等、受験に向けての準備が本格化します。

○新型コロナウイルス感染症がまた拡大してきています。先日ご案内した参観日・懇談会は、その状況により変更することもございます。

○『柔道』の授業も始まりです。外部講師を迎え、安全に十分配慮しながら実施します。1、2年生8時間ずつを予定しています。

## スクールカウンセラー来校 12月6日(火)

苦しいこと、悲しいこと、そして怒りややるせなさ…、人の心は複雑です。うまく言葉にできない心のモヤモヤも専門家と話してみるとスッキリするかもしれません。親や友達にも言えないこと、もしあったら吐き出してしまえらうといいですね。一人で苦しまないで!!

面談希望者は、教頭または学級担任に申し出てください。

## タブレットの活用-授業改善の取組

大きな行事は10月中に終了し、今月は学習に集中しやすいひと月となりました。教職員も今までの課題を解決すべく、反省を踏まえて生徒との接し方に工夫をしています。休み時間の学級の様子や放課後の見守りを徹底したり、授業でも一人一人の学習状況を細やかに捉えられるようにしたりしました。

特に、タブレットを活用した授業をおこなっています。そうすることで、1時間ごとの生徒一人一人の様子を記録したり交流の様子を残したりして、授業中見取りきれなかったものを補っています。

改めて、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を目指して取り組んでいきます。



マット運動の試技を録画し、コメントし合ったり自己分析をしたり、授業の終わりには全員の動画をフォルダに送っていました。送付された動画は教員が次の指導に役立っています。



国語の授業では、班員数名が同時に入力して画面上で意見や感想などを交流できる「Jam Board」を使っています。また、様々な工夫がされていることから、教員相互の学び合いに役立っています。

## 西中生の活躍!!

### ☆余市町美術書道作品展示会

#### 美術の部

北海道新聞社賞 2年生 S.Nさん  
余市ロータリークラブ賞 3年生 T.Yさん  
奨励賞 2年生 K.Aさん

#### 書道の部

北海道新聞社賞 3年生 F.Kさん  
奨励賞 3年生 Y.Kさん  
奨励賞 1年生 K.Yさん



### ☆税の作文コンクール

人権作文コンクールともに入賞!

2年生 U.Cさん



### ☆バドミントン新人大会、全道大会出場!

2年生 女子シングルス; K.Aさん  
男子シングルス; M.Hさん

